

Corel DRAW での作図について Rev-2

Corel DRAWを起動させ「ファイル」から「新規作成」を選択します。 ※必ず表示されている用紙内にデータを作図・配置して下さい。 用紙外にデータがあると加工時にエラーが発生します。

用紙設定がレーザー機の名前になっているか確認します。



選択しているデータの座標位置

選択しているデータの大きさ



長方形ツールとテキストツールを用いて下記のデザインを作成してみます。



ΕS **Universal Engraving Systems**

U



テキストを入力する場合は「テキストツール」を選択して、任意の場所で左クリック を押します。カーソルが点滅したらフォントの書体と大きさを選び、テキストを入力 します。書体と大きさはテキストを入力した後に、「選択ツール」に戻してから行っ ても可能です。

- ※フォントはWindowsにインストールされている種類を使用できます。
- ※「整形ツール」を使用すると文字の大きさを変更せずに文字の間隔を変更できます。 「整形ツール」選択後文字の下に出てくる矢印をドラッグ&ドロップすると調整で きます



輪郭ツールアイコン



Universal Engraving Systems

図形やフォントの枠線を変更する場合は「選択ツール」で図形を 選び、画面左側のツールバーにある「輪郭ツール」→「輪郭ペン」 と選択し「カラー」で色を、「幅」で輪郭の太さを変更できます。

※輪郭線が極細線の場合、レーザー機は切断動作を行います。 彫刻動作にしたい場合は輪郭線を無しにするか、極細線以外の 輪郭幅に設定して下さい。 また、黒色以外のカラーを用いる場合はレーザー機ドライバー 内のカラーマッピング機能を利用します。

図形やフォントの塗りつぶし状態を変更する場合は「選択ツール」で図形を選び、 カラーパラットの色にアイコンを合わせて、左クリックで塗りつぶし、右クリック で輪郭線色を変更できます。

※Corel DRAWの画面右下の表示で現在の状態が確認できます。



長方形の大きさを変更し、テキストツールで文字を作成できましたので、この2つ を整列させます。 2つの図形等を中央に重ねて配置する場合は、まず「選択ツール」で左クリックを 押しながら整列させたい図形等を囲みます。

771	´ル(<u>E</u>) 編集((E) 表示(⊻)	レイアウト(<u>L</u>)	オブジェクト(<u>]</u>)	効果(<u>C</u>)	ビットマップ(<u>E</u>	<u>)</u> 7 ‡71	(<u>X</u>)	テーブル(工)	ツ-
ſ	D • 8	l P _s Ę	1 🖣 🔿	• 0 - 🛛		PDF 37	7%			
	X: 164.416 Y: -114.805	mm ⊮+ 24 mm ፤ 10	0.0 mm 8.014 mm	100.0 % 100.0 %	0.0	0	- E - G	5	엽멸	Ę
k	無題-1 +	0			200	250	300			
ŧ,										
Q, +,	22	•								
∿ □	8.									
0,	1	┙		×						
്, ക്	150	-	Ľ	a	se.	r				
$\langle \cdot \rangle$	200									

Universal Engraving Systems

U 🗲



(整列配置後の図)



U ES Universal Engraving Systems

次に長方形の角の面取りを行います。 「選択ツール」で図形を選択します。 「ウインドウ」→「ドッキングウインドウ」→「フィレット/スカラップ/面取り」を 選択してドッキングウインドウに表示させます。 「フィレット」にチェックを入れ「半径(R)」に5mmと入力して適応を押すと角が丸く 変化します。 ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) レイアウト(L) オブジェクト(1) 効果(C) ビットマップ(E) テキスト(X) テーブル(I) ツール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) (『 白 ・ 日 日 時 時 ()・ (・) 📓 🗓 🕄 () * 🚺 () 🐨 (75% 🔹 員 |) 🔛 🎬 💾 スカップ(2)・ 🗘 () モー

 X:
 214.158 mm
 ±
 240.0 mm
 100.0 %
 ●
 0.0
 ○
 №
 Е
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 В
 • • • • • • • ▶ 無題-1 + フィレット/スカラップ/面取り • 71Lyh(E) ۴., Fr ○ スカラップ(S) ъ, 面取り(M) О, 半径(R): 5.0 mm \$ 面取り距離 ÷., A(A): 12.7 mm υ e B(B): 12.7 mm \Box 適用 0, 8 Laser O, ₽ 8 ₹. ٩,

任意の選択箇所のみフィレットをかける場合は「選択ツール」で図形を選択して おき、上部メニューバーの「オブジェクト」→「曲線に変換」を選択。 「整形ツール」を使用して<u>フィレットをかけたい部分</u>を選択し適用を押します。





U ES Universal Engraving Systems

データ作成~送信までのフロー

CorelDrawでデータを作成 ◆
CorelDrawメニューバー内の「ファイル」→「印刷」を選択 ◆
印刷設定内の「環境設定」でパワー・スピード等の数値を変更 印刷スタイルの項目を確認 ※初回のみ印刷スタイルの設定・保存をする必要があります ◆
印刷設定内の「適用」→「印刷」ボタンを押すとレーザー機にデータ

初めに作成したデータをレーザー機に送信する準備を行います。

CorelDraw画面左上メニューバーの「ファイル」→「印刷」を選択します。 印刷設定内の上部タブ「レイアウト」を選択し「ドキュメントに合わせる」 にチェックが入っていることを確認します。

印刷	х
一般 カラー コンポジット レイアウト プリプレス 巨 問題なし	
イメージの配置/サイズ	
 ドキュメントに合わせる(D) 	
○ページのサイズに合わせる(E)	
□ マークとキャリブレーション バーを含む	
○ 再配置(<u>R</u>): ページの中央 ▼	
▼ ページ7の設定: 配置(P): サイズ(Z): 倍率(S): タイル数(I):	
x: 22.05 mm \sim 106.77 mt \sim 100 \sim 1 \sim y: 278.83 mt \sim \mathbf{I} 268.83 mt \sim 100 \sim % \mathbf{I} 1 \sim	
□ タイルページの印刷(工) □ タイルマーク(Q)	
重ねる割合(V): 0.0mm (1) 0 (1) % (ページ幅)	
ブリードの制限(B): 4.0 mm ¹	
インポジション レイアウト(L): ドキュメントに合わせる(フル ページ) インポジション レイアウト(L): ドキュメントに合わせる(フル ページ)	
印刷プレビュー(<u>W</u>) ▶ 印刷 キャンセル 適用 ヘルプ	



レイアウトタブの内容を保存する為「一般」タブに戻り「印刷スタイル」横の 「名前を付けて保存」を選択します。

印刷		×
一般 カラー コンポジット レイア	ウト プリプレス 目 問題なし	
指定先		
プリンタ(N): VLS2.30		▼ 環境設定(P)
ページ(A): 方向を合わせる	(横置き)	▼ PPD の使用(E)
ステータス: 準備完了		
場所: UCP-1 注記:		□ ファイルに出力(<u>L)</u> ▶
印刷範囲	部数	
 現行のドキュメント(<u>R</u>) 	ドキュメント(D) コピー数(C):	1
○現行のページ(<u>U</u>) ○ ○ページ(<u>G</u>): 1	選択範囲(<u>S</u>)	□ 部単位で印刷(<u>0</u>)
偶数/奇数	ー ビットマップとして	印刷(<u>B</u>): 300 (dpi
印刷スタイル(Y): カスタム(現行の)	設定は保存されていません)	▼ 名前を付けて保存(⊻)
印刷プレビュー(<u>W</u>)	印刷キャンセル	適用 ヘルプ

任意のファイル名を入力して保存ボタンを押します。 下記画面では「現行のドキュメント」と入力してます。

設定の保存					\times
保存する場所(I):	- 印刷スタイル		v G 🦻 🖻	••••	
クイック アクセス	名前	デフォルト	更新日時 2017/01/19 18:45	種類 Corel Print Style	Ą
デスクトップ					
ライブラリ					
PC					
<i>ず</i> ネットワーク					
	٢				>
	ファイル名(N):	現行のドキュメント	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 保存(S) 	
	ファイルの種類(T):	印刷スタイル (.prs)	```	/ キャンセル	
	含まれる設定(L):	 ▶ ■一般的な設定 ▶ ■カラー設定 ▶ ■レイアクトの設定 ▶ マカラー分解の設定 ▶ □カラー分解のアドバンス設定 ▶ □ガブレスの設定 ▶ ■PostScriptの設定 	ŧ) ,	

ES Universal Engraving Systems

U

印刷スタイル項目が保存したファイル名になっているいることを確認し 「適用」→「印刷」ボタンを押すとレーザー機にデータが送信されます。

プリンタ(N):	VLS2.30	環境設定(<u>P</u>)		
ページ(A):	方向を合わ	りせる (横置き)	•	PPD の使用(E)
ステータス: 場所:	準備完了 UCP-1			
主記:				□ ファイルに出力(<u>L</u>) ト
叩刷範囲			部数	
● 現行のドキュ	ェメント(<u>R</u>)	○ ドキュメント(<u>D</u>)	⊐ピー数(C):	1
○ 現行のぺー: ○ ぺージ(⊆):	ジ(<u>U)</u> 1	○ 選択範囲(<u>S</u>)	11 22 33	部単位で印刷(Q)
	偶数/者	数 🔻	 ビットマップとして印刷(<u>B</u>)): 300 🇊 dpi
リスタイル(Y):	現行のド	キュメント	•	名前を付けて保存(V)

※印刷範囲項目を「選択範囲」にしてデータ送信する場合(特定のオブジェクトだけを選択する時)は改めて「選択範囲」にチェックを入れて印刷スタイルの保存を行う必要があります。

指正先一					
プリンタ(N): VLS2.30)		•	環境設定(<u>P</u>)
ページ(A)	: 方向を合	わせる (横置き)		-	□ PPD の使用(<u>E</u>)
ステータス: 場所: 注記:	準備完了 UCP-1				□ ファイルに出力(<u>L)</u> ▶
印刷範囲				部数	
 現行の 現行の 	ドキュメント(<u>R</u>)	 ドキュメント ※49第100 	<u>(D)</u>	コピー数(C):	1
○ 現170 ○ ページ	(<u>G</u>): 1		(2)	11 22 33	部単位で印刷(<u>0</u>)
	1因安火/7		Ť	□ ビットマップとして印刷(目	2): 300 Ĵ dpi
」刷スタイル	(Y):	現行の設定は保存	たれていません	,) -	名前を付けて保存(<u>V</u>)